

令和6年度日本小児外科学会
第2回定例理事会議事録

日 時：令和6年9月17日（火）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、浮山越史（理事・会長）、石橋広樹、尾花和子、加治 建、田中秀明、平林 健、淵本康史、米田光宏（以上理事）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、柴田晶子（以上事務局）

出席者（WEB）：

内田広夫（理事・次期会長）、奥山宏臣（監事）、田尻達郎（前会長）、田中 潔（第40回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長）、松浦俊治（前会長付庶務委員・専門医認定委員会委員長）、文野誠久（施設認定委員会委員長）、石丸哲也（専門制度庶務委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第2回定例理事会の議事録署名人は、内田広夫理事・平林 健理事とした。
2. 令和6年度第1回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第62回学術集会について（浮山会長）

浮山会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・寄付元からアルコールが出る懇親会はNGとされることが多いため、評議員懇親会・会員懇親会の名称について検討することとなった。
- ・田尻前会長より、演題募集の倫理審査のために研究倫理委員会とすりあわせをした方がよいとの助言がなされた。
- ・第3次会告について報告された。

会 期：2025年6月5日（木）～6月7日（土）

会 場：一橋大学一橋講堂

主 題：天に星、地に花、人に愛～きみの想いを子どもたちのために～

学会HP：<http://jsps62.umin.jp/>

演題募集期間：2024年10月16日（木）から12月12日（木）

開催形式：現地開催（予定）

2) 第63回学術集会について（内田次期会長）

内田会長より、口頭で進捗状況が報告された。

会 期：2026年5月21日（木）～5月23日（土）

会 場：ウィンク愛知

- ・理事会は2026年5月20日（水）開催予定であることが報告された。

3) 第40回秋季シンポジウムについて（田中潔秋季シンポジウム会長）

田中秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・特別講演を滝田順子先生（京都大学小児科教授，一般社団法人日本専門医機構サブスペシャルティ領域検討委員会委員長）に依頼したことが報告された。
- ・WL バランス検討委員会主催シンポジウムを10月25日 17:30～18:50 第2会場で開催することが報告された。
- ・10月初めから参加登録を開始する予定であることが報告された。
- ・応募演題と構成について報告があり、口演とポスター発表の二会場にすることが承認された。また、ポスター発表には座長は設けず、発表者は自分のポスター前で待機して自由に質問を受け付ける形式にすることが確認された。

日時：令和6年10月26日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

開催形式：現地開催＋ライブ配信 全会場（発表者・座長は現地）

4) 第41回秋季シンポジウムについて（大植次期秋季シンポジウム会長）

大植次期会長不在のため、平林理事より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

- ・7月12日にキックオフミーティングが開催されたことが報告された。
- ・演題募集は2025年7月1～31日を予定していること、公募演題および一部指定演題とし、応募演題によってセッションを組む予定であることが報告された。
- ・WL バランス検討委員会の講演会を開催する予定であることが報告された。
- ・小児外科学会教育委員会・小児内視鏡手術手技研究会共催小児内視鏡セミナーについて会員懇親会前に開催する予定であることが報告された。
- ・第40回日本小児外科学会秋季シンポジウム開催時よりランチョンセミナーの募集を開始すること、また、それまでにポスターとビラを作成する予定であることが報告された。
- ・各研究会会長に9月中旬のポスター作製に間に合うようにPSJM2025のテーマを決定するようお願いしたことが報告された。
- ・参加費はPSJM+秋季シンポジウム通しで医師は15,000円、医師以外・初期研修医は8,000円、学生は無料とする予定であることが報告された。
- ・資料に基づき、タイムテーブルについて報告された。
- ・倫理審査は例年通りに行うことが報告された。
- ・兵庫医科大学 小児外科 准教授の田附裕子先生が事務局長に就任することが報告された。
- ・ポスターやチラシの作成予定、HP開設予定について報告された。

日時：令和7年11月1日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

5) 第 42 回秋季シンポジウムについて (澁本次々期秋季シンポジウム会長)

澁本次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・ PSJM の会長について報告された。

第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

会 長：佐藤正人先生 (北野病院小児外科)

第 82 回直腸肛門奇形研究会

会 長：平林 健先生 (弘前大学小児外科)

第 30 回日本小児外科漢方研究会

会 長：田尻達郎先生 (九州大学小児外科)

第 55 回日本小児外科代謝研究会

会 長：曹 英樹先生 (川崎医科大学小児外科)

第 36 回日本小児呼吸器外科研究会

会 長：田尻達郎先生 (九州大学小児外科)

- ・ 下記の日程で開催することが承認された。

2026 年 10 月 28 日 (水) 理事会、29 日 (木) ~31 日 (土) PSJM・秋季シンポジウム

- ・ 会場については、一橋講堂 (292 万) を 田尻先生のお名前で 2 年前に予約する予定であることが報告された。

- ・ 一橋講堂は Wi-Fi 環境が脆弱なことからライブ配信費用が高くなるため、ライブ、オンデマンドについては検討することが報告された。

- ・ 運営事務局は MA コンベンションに依頼することが報告された。

日時：令和 8 年 10 月 31 日 (土)

会場：一橋講堂

テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会 (照井委員長)

照井委員長より、資料に基づき報告された。

2024 年 8 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,637 名 (うち海外 2 名)、評議員 279 名、準会員 26 名、名誉会員 58 名 (うち海外 8 名)、特別会員 66 名 (うち海外 1 名)、賛助会員 1 団体の合計 2,066 名+1 団体である。

- ・ 役員選挙に関する内規案が提示され、一部修正・追記し、承認された。
- ・ 委員会委員長の兼任に関する定款施行細則の改訂案が提示され、承認された。

(2) 財務会計委員会 (山田副委員長)

上原委員長欠席のため、山田財務副委員長から資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 旅費規定の宿泊費の上限を 18000 円とすることが承認された。
- ・ アルバイト謝金申請の書式および時給を 1200 円とすることが承認された。
- ・ アルバイトを雇用する際は源泉税を考慮し、1 日当たりの勤務時間を調整することが確認された。

- ・NPOの解散に伴う学会支援機構との業務委託契約書変更案が提示され、基本的に大幅な変更はなく、財務会計委員会として金額についても問題ないことを確認したことが報告された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

文野施設認定委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・8/11（日）AP品川アネックスにおいて施設認定審査を行い、8/21（水）～26（月）にかけて施設認定再審査のメール審議を行ったことが報告された。
- ・第125回日本外科学会定期学術集会（仙台）での、特別企画：若手からみた専門医制度の諸問題において、京都府立医科大学大学院生（平成28年卒）から、新専門医制度の諸問題についての発表を予定していることが報告された。
- ・サブスペ新専門医制度への移行期として、現在、外科専門研修1年目（卒後3年目）は小児外科専門研修を開始できず、研修歴としてカウントされない（小児外科手術症例はカウントできる）が、施設年次報告に卒後3年目を専門研修医として登録している施設が数件あるため、専門医認定の際に確認が必要であることが報告された。
- ・サブスペ新専門医制度の導入について、2024年5月以降はとくに動きがないことが報告された。
- ・少子化による各施設の症例数減への対応、専門医制度委員会の女性枠の新設について検討していくことが報告された。

松浦専門医認定委員会委員長より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・専門医認定委員会の開催スケジュールについて報告された。
- ・7月上旬に実施された日本専門医機構におけるサブスペシヤルティ領域向けアンケート調査について報告された。
- ・専門医機構認定の外科専門医更新の際に必須化される「外科総論に関するeラーニング」の小児外科領域の収録候補テーマ及び演者について報告された。

(4) 機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・学術論文データベースEBSCOへの本機関誌収録の契約完了について報告された。
- ・第61回日本小児外科学会学術集会(2024)開催記録（第61巻1号掲載予定）について報告された。
- ・第59巻（2023年）優秀論文のホームページ掲載について報告された。」
- ・名誉・特別会員の追悼文依頼について、岩渕眞先生の追悼文は八木實先生に依頼し入港炭であること、藤野俊夫先生の追悼文は永原暹（のぼる）先生に依頼中であることが報告された。
- ・機関誌投稿における利益相反自己申告書のデジタル式改訂案について承認された。
- ・記録号（学術集会、秋季シンポ）作成に関する内規改正が承認され、学会負担で中西印刷

に委託することが承認された。編集にかかる費用については機関誌委員会から支出することが確認された。

(5) 国際・広報委員会（渚本担当理事）

渚本担当理事より、資料に基づき HP の改定状況が報告された。

- ・ ども家庭庁への学会からの要望について、ホームページ上における位置について確認された。
- ・ ホームページに設置したフォームから学会によせられたども家庭庁への要望のあげ方について検討された。また、奥山監事より、よせられた要望が四者協と連携できるものであれば連携した方が良いとの指摘がなされた。
- ・ 英語 HP の試用版が提示され、公開することが承認された。
- ・ 日本地図形式の病院の表示方法について、教育委員会から要望のあった本邦小児外科研修病院のみを掲載し、小児救急検討委員会から要望のあった外科系小児救急受け入れ病院の掲載には使用しないことが確認された。日本地図の区分については渚本担当理事に一任することになった。
- ・ SNS の活用について検討することが確認された。

(6) 保険診療委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 7月18日にWEBで第2回保険診療委員会を開催したことが報告された。
- ・ 令和8年度の診療報酬改定について報告された。
- ・ 外保連各委員会、MDC14/15、外科学会保険診療委員会、小児期外科系関連学会協議会について報告された。
- ・ 日本大腸肛門病学会から依頼された「在宅経肛門的自己洗腸指導管理料（C119：800点）適用拡大に関する共同提案」について、共同提案の方針で問題ないとする委員会の審議結果が報告され、承諾で回答することが承認された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき報告され、承認された。

- ・ 日本外科学会プラットフォームを利用したeラーニングシステム参加について報告され、教育委員会主導で開設を進めていくことが承認された。
- ・ 卒後教育セミナー開催形式と位置づけについて、外科学会 e-learning に組み込んでオンデマンド配信を可能とすることが承認された。
- ・ 小児外科サマースクールを2025年8月に今年と同じ形式で開催することが承認された。
- ・ 家入副理事長より、サマースクール参加者が小児外科医になったか等のフォローアップ調査を行ってほしいとの希望が述べられた。
- ・ 小児外科学会ホームページの施設リストをわかりやすく改訂することについて、教育委員会で施設情報をアンケートで収集し取りまとめていることが報告された。国際・広報委員会と連携し、施設の名前をクリックするとアンケート内容が表示できるような項目をHP

に掲載することが承認された。

- ・小児外科専門医を志望する医師に具体的な方向性をイメージしてもらうために専門医取得までの道程や QOL・ライフイベントなどを提示することについて、教育委員会でアンケート実施中であることが報告された。国際・広報委員会と連携し、アンケート結果が表示できるような項目を HP に掲載することが承認された。
- ・PSJM で開催する小児内視鏡外科手術セミナーについて、セミナーの収入（ジョンソン&ジョンソンの協賛金、参加費）・支出（司会・講師への謝金）は、いずれも PSJM・秋季シンポジウムの収入・支出とすることが確認された。
- ・第 39 回卒後教育セミナー・第 16 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・第 17 回小児内視鏡外科手術セミナーを 2024 年 10 月 25 日 PSJM 会期中に現地開催しライブ配信も行う予定であることが報告された。
- ・2025 年 1 月 13 日 web 開催を予定している第 40 回卒後教育セミナーについて、プログラムが決定したことが報告された。開催時期が例年より約半年早まることもあり、会告を 4 回に増やし、60 巻 4 号（6 月号）～7 号（12 月号）まで掲載する予定であることが報告された。第 18 回小児内視鏡外科手術セミナーを同日開催する予定であることが報告された。
- ・2026 年 1 月 25 日日曜日に第 41 回卒後教育セミナー・第 20 回小児内視鏡外科手術セミナーを web で開催する予定であることが報告された。詳細はこれから検討していくことが報告された。
- ・令和 6 年 8 月 10 日土曜日に名古屋大学で開催された小児外科サマースクールについて、初期研修医 11 名、学生 13 名が参加し、腸管の縫合練習、シミュレータを用いた胸腔鏡下食道閉鎖、腹腔鏡下肝管空腸吻合、腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術のセミナーを実施したこと、昼食時にアムコ協賛で NESSY セミナーを開催したことが報告された。

（8）悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・悪性腫瘍登録事業地区センター幹事（10 地区）からの残存データの回収作業が終了したことが報告された。2000 年以前のデータは紙ファイルと電子ファイルが混在しており、ファイルが完全に揃っているかは確認が難しいこと、2001 年以降の電子データは、すべての地区の登録データを腫瘍別および年度別に整理して電子ファイルとして保管していることが報告された。
- ・過去データの問題点として、2000 年以前の紙ファイルには患者氏名や住所などの個人情報が含まれており、スキャンする場合は個人情報の消去をしなくてはならないが、墨塗りでは完全に消去できない可能性があるため、データの取り込み後に確認が必要であることがあげられ、個人情報の問題を解決するのが困難であることから、2000 年以前の紙データについては、2030 年を目安に公文書保管期限 30 年を考慮し、焼却または溶解処分を検討が求められ、承認された。
- ・紙データを電子データに変換した場合、10 地区のうち 2 地区+ α しかデータが揃っておらず、歯抜けのデータとなる可能性が高いことが報告され、紙データを電子データに変換する必要があるかどうか、について審議が求められ、変換作業は行わないことが承認され

た。

- ・2024年10月8日に開催される（一社）日本がん治療認定医機構関連学会連絡委員会に平林健理事、小松秀吾委員長が出席予定であることが報告された。

（9）学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・鹿児島大学小児外科大西峻先生の「Hirschsprung 病の診療のガイドライン作成に関する全国アンケート調査」について、多施設共同研究としての中央一括審査や各施設の倫理審査について有効な回答を得られなかったことから、学術的な内容は学術・先進医療検討委員会で承認とし、倫理審査については学会より「研究・倫理審査委員会」へ審議を移譲したことが報告された。これを受けて小野理事長から、研究・倫理審査委員会の審議結果を大西峻先生に伝えたことが報告された。
- ・帝京大学医学部内科学講座教授田中篤先生の「小児肝不全の全国調査」について、学術・先進医療検討委員会として承認されたことが報告され、承認された。
- ・第61回学術集会における優秀ビデオとして、名古屋大学大学院 小児外科学 内田広夫先生の「乳児の先天性胆道拡張症に対するロボット支援腹腔鏡手術」が選出されたことが報告された。これに対し内田広夫先生より、当該ビデオに修正があることが報告され、再編集したビデオを委員会で再審議することが承認された。
- ・2024年9月12日に web で開催された学術・先進医療検討委員会について報告された。

（10）倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・日本重症心身障害学会社会活動委員会コネクタ問題ワーキンググループ作成の「新規格・旧規格経腸栄養製品の賢い使いわけマニュアル」の学会承認と学会 HP 掲載について委員会の審議結果が報告され、学会承認及び学会 HP への掲載を保留とすることが承認された。

（11）データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・2024年8月11日～8月30日にかけて、メールベースで委員会を開催し、下記の6点について情報共有が行われたことが報告された。
 - 1,名古屋大学から応募された NCD-P を用いた前向き研究が承認され NCD と折衝が開始すること。
 - 2,NCD-P を用いた後向き研究は委員会で選出した 4 件が承認されたこと
 - 3, 広島大学から応募された複数領域の NCD データを利用した研究が外科学会の承認を得たこと。
 - 4,厚労科研宮田班論文は著者に修正依頼をしていること。
 - 5,「JSPS の NCD_DB 利用研究申請枠組みの検討_v4.pdf」が承認されたこと。
 - 6,HP 掲載データの改訂を行うこと。
- ・第1回理事会で承認された「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び

安全性評価」の研究計画の申請者に審議結果を報告し、その後 NCD と申請者および DB 委員会委員長の間で第 1 回の研究打ち合わせが行われたことが報告された。

- ・ 2024 年度 NCD データ(小児外科領域)利用後ろ向き研究(公募期間 2024 年 4 月 1 日(月)~4 月 19 日(金))について、6 件の応募があり、7 月 29 日から 31 日にかけて理事会メール審議が行われ、4 件の研究計画が承認されたことが報告された。4 名の申請者には学会にて承認の旨を 8 月 1 日に連絡したこと、今後は各研究者が研究費獲得の後に研究を開始することが報告された。
- ・ 第 1 回理事会で報告された NCD 利用研究「NCD データを用いた地域医療提供体制の計画に資する分析の検討」の一部修正について、DB 委員会の審議結果が報告され、承認された。
- ・ メールベースの委員会で報告された 4 厚労科研宮田班論文について、修正された論文が提出され、委員会審議で承認されたことが報告され、承認された。

【研究タイトル】 NCD データを用いた地域医療提供体制の計画に資する分析の検討

【投稿論文タイトル】

High-volume hospitals experience fewer postoperative complications after neonatal surgery: Analyses of the National Clinical Database Pediatric Surgical Registry in Japan

- ・ 内田理事より、NCD-P を用いた前向き研究について、NCD と話し合った結果、項目を追加した方が良いということになったことが報告され、追加の可否について確認がなされた。これに対し小野理事長より、内容と予算によるが可能性はあるので、話が済みそうであればデータベース委員会の藤野委員長に報告するよう述べられた。

(12) 小児救急検討委員会 (平林担当理事)

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・ 2023 年度 門田班研究のアンケート調査について好沢委員長を中心に論文発表予定であることが報告された。
- ・ 2024 年度の学会員向けの PALS および BLS 講習会について報告された。
- ・ 令和 6 年日向灘地震に関して学会として安否確認文章を配信したことが報告された。
- ・ 外科系小児救急患者受け入れ状況アンケートについて、8 月~12 月にアンケートを実施し、2025 年 1 月~3 月にかけて集計作業を行う予定であることが報告された。アンケートの回収率向上が課題であることが報告された。
- ・ 令和 6 年度第一回理事会で報告した米倉顧問発案の小児外科学会会員の D-MAT 引受状況アンケートを実施することについて継続して検討中であることが報告された。
- ・ 腹部救急医学会理事である鶴知光先生から、腹部救急医学会では成人外科医が小児症例でも比較的すぐに臍切除を行うケースも存在していると伺ったことを受けて、小児外科医と成人外科医の感覚の違いを明らかにするためアンケートを実施し、実態把握に努めることが平林理事から提案され、小児の外傷性臍損傷に関するアンケート実施を検討中であることが報告された。
- ・ DMAT 隊員を有する小児外科医に対するアンケート、小児の外傷性臍損傷に関するアンケートの実施について、学術・先進医療検討委員会に審査依頼をするため準備中であるこ

とが報告された。

- ・2024年10月6日（日）に開催される小児救急連絡協議会に好沢克委員長が出席する予定であることが報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・『外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック第2版、移行期支援のための患者サマリー（2022年版）』使用の実態調査』のアンケート結果が報告された。一次アンケート調査の結果を2025年の学術集会で発表する予定であることが報告された。また、ガイドブック、サマリーの存在を認識していなかった旨の回答が散見されたため、HPのトランジション検討委員会のページではなく『小児外科関連ガイドライン』内にアップすることが求められ、承認された。
- ・『外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック第2版、移行期支援のための患者サマリー（2022年版）』使用の実態調査』の二次アンケート調査について、前回調査内容をベースにブラッシュアップして再度WEB会議を予定することが報告された。二次アンケート調査は、本来一次アンケート調査を回答してもらった施設にだけ送るものと考えられるが、40%しか回収されていないため、現状把握のために全施設に送ることについて審議が求められた結果、アンケート内容を委員会で再検討し、理事会に報告することになった。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・2024年6月11日に開催されたワーク・ライフ・バランス検討委員会について報告された。
- ・2024年PSJM・秋季シンポジウムでの講演会のテーマ、形式、演者候補について報告された。
テーマ：働き方改革
 - 1) 形式：講演+総合討論と座談会形式で決を取り、満場一致で座談会形式が選ばれた。
 - 2) 演者候補：教授（組織のトップ）と若手にペアでの登壇を依頼することが報告された。
委員会内で候補を選出し、各施設に依頼することが報告され、協力が求められた。
- ・ホームページ掲載の小児外科医募集要項案の進捗について報告された。
- ・アンケート作成についてU45WGに連携を提案する予定であることが報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、口頭でPSJM・秋季シンポジウムの倫理審査について報告された。

(17) NCD連絡委員会（渕本担当理事）

澁本担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・NCD 新規術式「経皮的針生検術（軟部腫瘍・腫瘤）」などの専門医制度上の扱いについて、NCD から 10 月 4 日までの回答を求められているため、専門医認定員会での審議結果が届き次第理事会にメール審議依頼をするので、速やかに回答するよう協力が求められた。
- ・リスクカリキュレーターアップデートについて、NCD へ正式な見積もりを依頼することが承認された。
- ・今年の audit は例年通り 4 件の予定で進めていることが報告された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・小児外科診療に関連するガイドラインについての審査について報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインの公開後アンケート調査について、2023 年にアンケート調査を学会員対象に施行し、2024 年 5 月の第 61 回日本小児外科学会学術集会のポスター発表で結果発表について、学術・先進医療検討委員会へ報告し、学会 HP に掲載されたことが報告された。
- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインの進捗状況について、現在、草案修正中であることが報告された。
- ・厚労科研田口班と連携して行う先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、作成グループによって疾患トピックの草案が作成されたことが報告された。2024 年 3 月 19 日キックオフミーティングが開催され、今後は SCOPE 策定を行う予定であることが報告された。
- ・先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂について、作成グループに加治担当理事・文野委員長・住田副委員長が参加していること、4 月 15 日に作成グループ会議を開催し、CQ3 つを予定していることが報告された。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、資料に基づき報告され、承認された。

- ・『NCD 利用研究』における COI の申告の検証について報告された。
- ・COI の申告書で配偶者の氏名は医学会のガイドラインでは不要なため、小児外科学会の申告書も氏名なしに変更したことが報告された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、資料に基づきイントラリポス、ミキシッド輸液の添付文書変更について報告された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(22) 総合調整委員会（家入委員長）

家入委員長より、資料に基づき、8 月 20 日に開催された委員会について報告された。

- ・他学会との学術集会でのコラボレーションについて、理事会での審議が始まっており、総合調整委員会での審議は終了となっているため、審議は行われなかったことが報告された。
- ・働き方改革に対する学会の取り組みについて、継続審議となったことが報告された。
- ・こども家庭庁への学会からの要望について、HP 上でのバナー掲載方法について確認され継続審議となったことが報告された。要望のあげ方について検討し、アドホック委員会を立ち上げることとなった。
- ・新専門医制度への対応について、連動更新のシステム、専門医制度委員会での e-learning コンテンツの作成などが進行していることが共有され、継続審議となったことが報告された。
- ・U45WG の今後の活動方針について、問題点とその対策案が議論され、継続審議となったことが報告された。U45WG の責任者である服部健吾先生から進捗状況が報告され、メンバーである川久保尚徳先生から若手医師のキャリア形成をサポートすることを目的として、キャリア形成に関する Web 講演の開催を検討していることが報告された。理事からワーク・ライフ・バランス委員会が作成した女性医師のインタビュー記事が存在することが指摘され、発表内容に関しては総合調整委員会で確認することが報告された。
- ・学術集会のあり方について、継続審議となったことが報告された。
- ・NCD Audit 委員会のアドホック委員会についてメンバーが確定し、キックオフ MTG を開催する予定であることが報告され、地域の評議員が参画可能なマニュアルが作成されることとなっていることが報告された。委員会が始動したため総合調整委員会での審議を終了したことが報告された。
- ・小児外科専門医の適正配置について今後も専門医制度委員会からの情報を元に理事会で審議していくことが報告された。
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方について、働き方改革もあり、研究会の統合・同時期開催等の調整は今後も必要であることが確認された。総合調整委員会委員長から理事会に議題を上げ、承認を経てアンケートを施行し、理事会で審議していくこととなったことが報告された。
- ・涸本理事より英語 HP 案が提示され、総合調整委員会での審議は終了したことが報告された。
- ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて、海外研修に関連する情報がある場合、ホットニュースに掲載されることが確認され、本件は継続審議となったことが報告された。
- ・涸本理事より、教育委員会による日本地図分布地図のたたき台が提示され、各理事より意見が出されたことが報告された。
- ・涸本理事より、懸案事項であった NCD Risk calculator に関する追加の説明があり、第 2 回理事会で審議することが報告された。
- ・家入副理事長より、医療系情報サイト Medical Note と医学学会との協定締結について情報提供があり、初期費用は発生しない点、医療情報へのアクセス増加により認知度が向上する点、が共有された。継続的な費用がかかるかについて確認し、今後の理事会で審議することが報告された。

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻前々理事長、奥山監事退席のため、次回理事会でご報告いただくこととなった。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より、委員の更新予定について報告された。

(25) 選挙管理委員会（照井選挙管理委員長）

照井選挙管理委員長より、資料に基づき、報告された。

- ・選挙管理委員長は互選により、照井庶務委員長が就任したことが報告された。
- ・選挙日程について報告された。
- ・8月の公示予定文書を確認したことが報告された。
- ・選挙管理委員は理事長の推薦により評議員になる見込みであること、投票権はあることなどが確認された。

7) 小児内視鏡外科手術セミナー 謝金支払い他について（小野理事長）

小野理事長より、教育委員会の審議事項で言及された、PSJMで開催する小児内視鏡外科手術セミナーの収入（ジョンソン&ジョンソンの協賛金、参加費）・支出（司会・講師への謝金）をいずれもPSJM・秋季シンポジウムの収入・支出とすることについて、改めて報告された。

8) 名誉会員 窪田先生からの要望書（小野理事長）

小野理事長より、窪田昭男先生から要望書が提示され、次回の総合調整委員会で議題とすることが報告された。

9) 第1回日本医療安全推進学会学術総会後援名義使用の許可依頼について（小野理事長）

小野理事長より、第1回日本医療安全推進学会学術総会後援名義使用の許可依頼が届いたことが報告され、承諾することが承認された。

10) 小児外科における研究会の統合あるいは同時開催の可能性に関する調査のお願い

（家入副理事長）

家入副理事長より、小児外科に関連する研究会宛に統合あるいは同時開催の可能性についての調査のお願いの文書が提示され、関連する研究会宛に送付することが承認された。

11) “Medical Note との医療情報発信に関する連携協定の締結”に関して（家入副理事長）

家入副理事長より資料に基づき、報告された。

- ・医療情報の発信に関する総合的な連携協定書案が提示され、

第3条（費用）

前条に基づく本当事者の対応は別段の合意がない限り無償で行われるものとし、それぞれの対応にかかる旅費・通信費その他一切の経費は、各自が負担するものとする。

と記載されていることが確認された。

- ・費用の発生等の変更が生じた場合、契約解除できるか確認することとなった。
- ・連携協定の締結に向けて進めていくことが承認された。

12) NPO 解散に伴う業務委託契約書見直しについて（小野理事長）

小野理事長より財務会計委員会の審議事項で言及された、NPO の解散に伴う学会支援機構との業務委託契約書変更案が報告され、提示された契約書案で契約することが承認された。

13) 外科学会への演題登録について（伊勢一哉評議員）

伊勢一哉評議員より資料が提示され、第 125 回日本外科学会の特別企画「07. リアルワールドデータが変える外科学の未来」に、学会として「小児外科領域における NCD データを用いた研究成果例と将来展望」というタイトルで演題登録を行うことについて審議が求められ、承認された。

1. 報告事項

1) 理事長報告（小野理事長）

- (1) 小児慢性疾病委員会議事録について報告された。
- (2) 水筒の肩掛注意に関する子ども家庭庁への要望書について報告された。
- (3) 「NCD を用いた外科医の実態に関する調査」のキックオフミーティング (Web) 議事録について報告された。
- (4) 日本皮膚科学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (5) 日本女医会からの通信文「役員改選の挨拶」を受領した。
- (6) 循環器病研究振興財団からの通信文「理事長退任・就任の挨拶・顧問就任の挨拶」を受領した。
- (7) 日本専門医機構からの通信文「理事長退任・副理事長就任の挨拶」を受領した。
- (8) 日本乳がん学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (9) 日本婦人科腫瘍学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (10) 日本周産期・新生児医学会からの通信文「理事長就任・新役員選任の挨拶」を受領した。
- (11) 難病医学研究財団からの寄贈本「難病研究財団ニュース No. 60/難病情報センターご案内」を受領した。
- (12) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol. 205」を受領した。
- (13) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 7 月号」を受領した。
- (14) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 411」を受領した。
- (15) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌」を受領した。
- (16) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 8 月号」を受領した。
- (17) 日本がん治療認定医機構の寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト 第 18

版」を受領した。

(18) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 412」を受領した。

2) その他の報告

・田中理事より、PSI に採択された 21 篇の論文一覧が提示され、PSI 委員会で査読を行い、PSI 編集長の Tomas Wester 教授にお送りして掲載に向けて準備を進めていることが報告された。

3) 次回定例理事会日程の確認（小野理事長）

次回定例理事会は令和 6 年 10 月 23 日(水) 11:00～14:00 一橋大学一橋講堂で開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____